＜先週の説教から＞

『ルカ 90 ― あなたを拒む者には』

武田 真治　牧 師

創世記　19：12～17　ルカ福音書　10：10～16

イエス様はガリラヤからいよいよエルサレムへ向かう伝道の旅を始められます。先ず、ご自分が足を運ぼうとしておられる町や村に、あらかじめ弟子たちを二人づつ遣わそうとされ、そのために多くの弟子たちの中から 72 名を選ばれたました。それはイエス様がスムーズに入って行くため、またその弟子たち自身の実地訓練の意味も含まれていました。

その上で今日の箇所は「しかし、町に入っても、迎え入れられなければ、広場に出てこう言いなさい。『足についたこの町の埃さえも払い落として、あなたがたに返す。しかし、神の国が近づいたことを知れ』と。」この言葉のすごさは、その各地での伝道が“失敗してしまった”場合についてイエス様が教えておられる言葉だからなのです。

ここで私が何より教えられることは“伝道は失敗することがある”とイエス様が認められておられることです。伝道は神様の業だから必ず成功する、いつも右肩あがりでないとダメだということではないと。もちろん、まだ訓練の段階だからと言い得るかもしれませんが、うまく行かなくても是が非でも成果を上げるまでそこに留まれとは言われていません。更に「足の埃を拭い去る」行為は、もう一切関わらないようにするという宣言です。そこには“いつまでもその失敗を引きずるな”という意味も込められています。うまくいかない場合にそこにこだわり続けると弟子たち自身が“壊れてしまう”かもしれないからです。『次があるよ！』と。

そして、次節の「コラジン、お前は不幸だ。ベトサイダ、お前は不幸だ。お前たちのところでなされた奇跡がティルスやシドンで行われていれば、これらの町はとうの昔に粗布をまとい、灰の中に座って悔い改めたにちがいない。」というイエス様の言葉は、まさにイエス様も、うまく行かなかったことを自ら公にされています。ただし、各々の町で全く伝道が振るわなかったということではなく、ベトサイダは弟子のペトロやアンデレの町でもありましたから、イエス様の伝道が振るわなかったということではないのです。ここでイエス様が問題とされているのは「灰の中に座って悔い改めたにちがいない」とありますように“悔い改めたか、どうか”なのです。イエス様のみ言葉やみ業に触れて、自らの罪を悔い改め、新しい人生を求めて“イエス様に従う”ということこそ大切なのだということを改めて教えられます。

しかも、その思いは、単なる個人を越えて、ひとつの町全体を変えてしまう程の力と変化をもたらす程のものだと！

私たちが考えるところの伝道の成功や成果と比べると、イエス様の求めておられるものははるかに高く、気高く、段違いのスケールの大きさを思わされます。私たちの満足度は、本当にちっぽけなものだと思わされています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．11 月 18 日（水）20：00
Ⅱ．11 月 19 日（木）10：30

聖書研究：　ヨブ記
祈祷主題：　収穫感謝・謝恩日を覚えて
担 当 者：　（水）SY　（木）AH
祈りに覚える人：　HS さん　HI さん

＊ハンナの会　11 月 17 日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　男 17　女 44　計 61
祈 祷 会　Ⅰ．男 5　女 3　計 8　Ⅱ．男 1　女 7　計 8
日曜学校　幼稚科 2　小中科 6　計 8

【次週礼拝】　１１月　２２日（日）

聖　書：　詩　編　８：２～３
ルカによる福音書　１０：２１～２４

説　教：「ルカ 92 ― 幼子として、幼子のように」
武田 真治 牧 師

讃美歌：１４９(1)、３２、３５２、６０、５４３、２４

【次週当番表】

司式:KY 長老　奏楽:SY　礼拝:IK 長老
献金：MM　MA　受付：KH　SY
会堂準備：OK　KH　KA　TN
NE
看板：NY　週報：IT　お花：IY

【次週集会予定】

礼拝前：・日曜学校(礼拝・分級)　・はこぶねルーム
・聖書輪読会
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会　・聖歌隊練習
・幼稚園理事会
・礼拝/牧会/伝道/社会教育 各委員会

６７－４６

週　報

2026 年度　教会標語

「神様に“望み”を持って、生きる！」

２０２６年　１１月　１５日

日本キリスト教団　上尾合同教会
牧　師　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549